

KLA が革新的な X 線計測システムを発表

メモリーチップ製造プロセスでのバッチカル・スケーリングに対処する高度なメトロロジープォリオを拡充する Axion® T2000

カリフォルニア州ミルピタス 2022 年 12 月 6 日 — [KLA Corporation](#) (NASDAQ : KLA) は、最先端のメモリーチップメーカー向けの革新的な **Axion® T2000** X 線計測システムを発表しました。3D NAND や DRAM チップの製造では、微細で極めて深い構造のホールやトレンチ、その他の複雑な構造を高精度に形成するためにナノスケールレベルでの制御が必要とされます。Axion T2000 は、特許取得済みの技術により、かつてない分解能、正確さ、精密さかつスピードで、アスペクト比の高いデバイスの構造を計測します。メモリーチップの性能に影響を与える僅かな形状の異常を検出することで Axion T2000 は、5G、人工知能 (AI)、データセンター、エッジコンピューティングなどのアプリケーションに使用されるメモリーチップの生産を確実に成功させるための支援をします。



KLA の Axion® T2000 X 線計測システムは、メモリーデバイスの機能や性能に影響を与える微細な 3 次元形状の変動を検知します。

KLA のセミコンダクタープロセス制御ビジネスユニット社長である Ahmad Khan は、次のように述べています。「当社の Axion T2000 X 線計測システムは、最先端の 3D NAND や DRAM デバイス製造過程でのインラインプロセス制御に対するゲームチェンジャーです。」「透過型 X 線技術により、Axion T2000 は、100 対 1 以上の高いアスペクト比を持つ構造の完全な 3 次元ビジュアライゼーションを迅速に行います。Axion からのデータは、これら極めて深い縦構造のトップからボトムまでの幅、形状、チルトなどの重要なパラメーターを高い精度で制御することを可能にします。さらに、インライン計測に適用することで、Axion はメモリーチップの量産時の歩留まりや信頼性に係わる重要な問題を解決するために要する時間を短縮します。」

Axion T2000 は、業界でも独自の X 線技術を活用した、メモリーデバイス構造の CD や 3 次元形状を高分解能に計測できる CD-SAXS（小角 X 線散乱 CD 計測）システムです。高フラックスの線源は、メモリーの縦構造全体を透過する X 線を照射し、現在及び今後のメモリー構造の厚みにかかわらず、複雑なデバイス形状の測定を可能にします。業界の先端を行く広いダイナミックレンジのステージを有しており、多数の入射角の回析像を取得し、情報量豊富な 3 次元形状に変換します。最新の AcuShape® のアルゴリズムは、多くの重要なデバイスのパラメーターの計測および最終的にメモリーチップの機能に影響を与える微細な変動の捕捉を可能にします。これらの革新的技術により、Axion T2000 はインラインで、メモリー製造時の鍵となるプロセスステップの最適化、モニター、制御に必要な寸法計測データを非破壊で提供します。

複数のシステムが、要なメモリーメーカーで運用されています。3D NAND や DRAM 生産のための複雑なパラメーターを高精度に計測する KLA の最先端計測システム群に Axion T2000 が加わります。KLA の[包括的なメトロロジ（計測）ポートフォリオ](#)は、R&D の初期段階から量産までのアプリケーションの全てをカバーし、デバイスの迅速な立ち上げ、品質改善、歩留まりの向上をドライブする情報を提供します。高い性能と生産性を維持するために、Axion T2000 は、[KLA のグローバル包括サービスネットワークによってサポートされます](#)。この新しい Axion T2000 X 線計測システムの詳細については、[KLA Advance のニューズルーム](#)をご参照ください。



KLA について :

KLA Corporation は、エレクトロニクス業界全体のイノベーションを可能にする、業界最先端の装置とサービスを開発しています。当社は、ウェハーとレチクル、集積回路、パッケージング、プリント基板及びフラットパネルディスプレイの製造のための高度なプロセス制御およびプロセス対応ソリューションを提供しています。世界中の大手顧客と緊密に連携しながら、物理学者、エンジニア、データサイエンティスト及び問題解決担当者からなる専門家チームが、世界を前進させるソリューションの設計を行っています。KLA は、SEC のファイリング、プレスリリース、決算説明会、カンファレンス・ウェブキャストなどの重要な財務情報を、投資家向けのウェブサイトを利用して発表しています。 (ir.kla.com) 追加情報は、kla.com (KLAC-P) でご確認ください。

将来の予想に関する記述について :

Axion T2000 システムについて期待されるパフォーマンスを含む本プレスリリースでの記述は、過去の事実を除き、将来の見通しに関する記述であり、1995 年米国連邦私的証券訴訟改革法の免責事項に該当します。これらの将来の見通しに関する記述は、現時点の情報及び見通しに基づいたものであり、種々のリスク及び不確実性を含んでいます。新しい技術の採用の遅延（コスト、性能の問題などによる）、他社による競合製品の投入、KLA の製品の投入、性能、利用に影響を及ぼす予期せぬ技術課題や限界、あるいは、2022 年 6 月 30 日までの 1 年間の Form 10-K 記載の KLA の年次レポート及び米証券取引委員会にその他の記録に含まれるその他のリスク要因（その時点で記載のリスク要因を含み、これに限定されない）により、実際の結果が前述の予想と異なる可能性があります。KLA は、これらの将来の見通しに関する記述を更新する義務を負うものではなく、また現在のところ更新する意図もありません。



投資家向け広報窓口 : Kevin Kessel、Vice President, Investor Relations、
+1 (408) 875-6627、kevin.kessel@kla.com

メディア向け広報窓口 : Randi Polanich、Vice President and Chief Communications Officer、
+1(408) 875-6633、randi.polanich@kla.com